

『常陸大宮市史』資料編3・4(近世I・II)
刊行記念シンポジウム

水守・永田家とその時代

— 常陸大宮市史が描く江戸時代の村社会 —

会期: 令和8年

8.22(土)

13:00~16:30

会場:

常陸大宮市文化センター

ロゼホール 小ホール

常陸大宮市中富町3135-6

定員

200人

※申込み不要

入場
無料



シンポジウム

常陸大宮市史編さん事業では、常陸大宮市の歴史や文化財、自然環境の基礎資料となる『資料編』及び『別編』を刊行中です。このうち、『資料編』3・4は、常陸大宮市内外に残る江戸時代の古文書や絵図を収録。当地域の支配や生業、文化や信仰、幕末の動乱など、様々な視点から当時の社会と人々の営みに迫っています。

この刊行を記念して、水戸藩の三大江堰の建設に尽力した永田茂衛門親子とその子孫たちの活動を紹介するとともに、江戸時代の那珂川・久慈川の治水や利水、水運、ため池の利用や管理などにスポットを当て、本書の執筆を担当した専門家による講演とシンポジウムを開催します。

辰之口分江全図(永田由紀夫家文書)

永田家が手がけた地域開発
—水戸藩の礎を築いた土木事業—

添田 仁(茨城大学人文社会科学部教授)

溜池の整備・保全・活用
—近世・近代を中心に—

坂本 達彦(國學院大學栃木短期大学日本文化学科教授)

久慈川・那珂川舟運の展開
—物流の活性化と江堰をめぐる課題—

大内 正臣(茨城県教育庁学校教育部高校教育課管理主事)

パネルディスカッション
—常陸大宮市史が受け継ぐ永田家の遺産—

コーディネーター 高村 恵美(常陸大宮市史編さん事務局)

お問合せ先

常陸大宮市教育委員会事務局 文化スポーツ課文化振興G

〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6

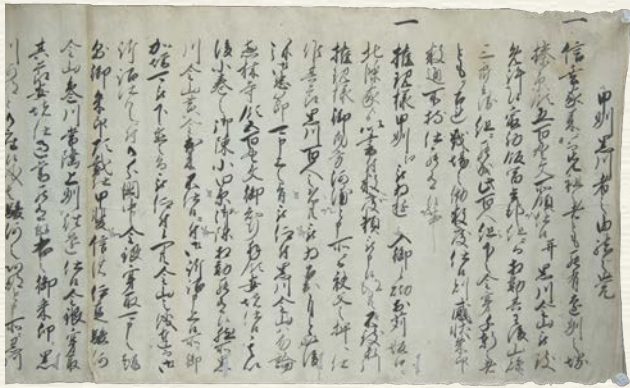
TEL:0295(52)1111[内343] MAIL:bunsupo@city.hitachiomiya.lg.jp

主催

常陸大宮市

一般財団法人自治総合センター

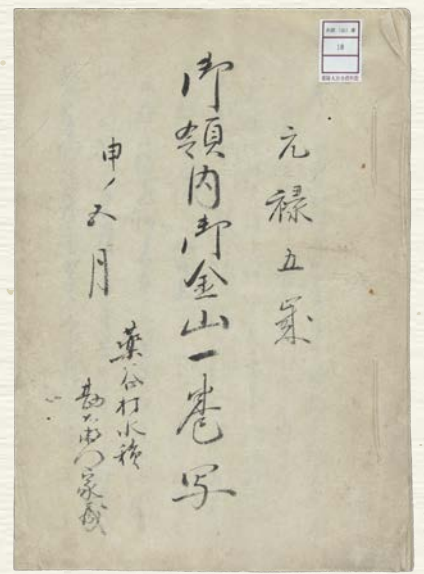
本シンポジウムは一般財団法人自治総合センターのシンポジウム助成を受けて開催します。



甲州黒川者之由緒之覚(永田由紀夫家文書)



加藤寛斎が描いた大黒天図
(永田由紀夫家文書)



御領内御金山一卷写(永田由紀夫家文書)

『常陸大宮市史』資料編3・4
刊行記念企画展

水守・永田家とその時代

— 常陸大宮市史が描く江戸時代の村社会 —

会期：令和8年

7.25(土)~9.13(日)

9:00~16:30、月曜・祝日休館

【展示解説】

8.2(日) 午前10時/午後2時

8.22(土) 午前10時

8.29(土) 午前10時

先着

500名に
パンフレットを
贈呈!

常陸大宮市歴史民俗資料館 常陸大宮市中富町1087-14 TEL:0295(52)1450

『常陸大宮市史』のうち、江戸時代に関する資料を収録した『資料編』3・4の刊行を記念して、水戸藩の三大江堰の建設に尽力した永田茂衛門親子とその子孫たちの活動と、のちに彼らを顕彰し、記録保存に努めた人々に注目した企画展を行います。

また、これに合わせて、新たに市の文化財に指定された「永田由紀夫家文書」についても、その全容をご紹介します。

展示構成

はじめに 一文化財指定された
永田茂衛門ゆかりの古文書一

第1章 永田家の由緒をたどる

第2章 水守役としての活躍

第3章 顕彰される永田家

おわりに

(主な展示資料)甲州黒川者之由緒之覚(永田由紀夫家文書)

御領内御金山一卷(写)(永田由紀夫家文書)

辰之口分江全図(永田由紀夫家文書)

辰之口堰水利組合用水路之図(野澤家文書)

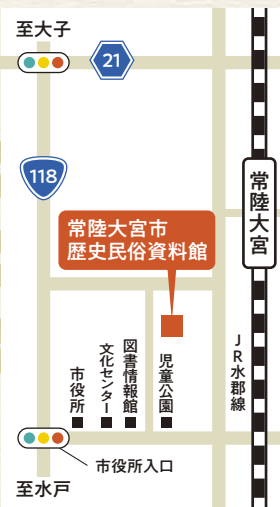
辰之口会所張紙留(永田高志家文書)ほか



昭和32年頃の辰ノ口堰(部分、「大宮広報」)



企画展



お問合せ先

常陸大宮市教育委員会事務局 文化スポーツ課文化振興G

〒319-2292 常陸大宮市中富町3135-6

TEL:0295(52)1111 [内343] MAIL:bunsupo@city.hitachiomiya.lg.jp

主催

常陸大宮市教育委員会